

「すごい」ことばの変化

—現代アメリカ英語賞賛表現の電子媒体による分析—

山田仁子

序

長い空白の時をはさんで同じ国を訪れると、言語は変化する事を実感する。英語という言葉が変化する事については、過去に数えきれない程の研究がなされており、私も学問として学んで知っているし、学生にも伝えている。しかし英語の変化に関する多くの知識は、OEDに記載されているような過去の文献に拠ることが多い。現代の英語が日々変化している事は、日本という非英語圏においてはなかなか知ることができない。

私は大学生の頃から数回アメリカ合衆国を訪れたが、その中でも特に1994年9月から1995年6月までの10ヶ月間と2011年8月から2012年3月までの8ヶ月間の2回長期滞在したことで、英語の変化を体感することができた。訪れた場所は、1度目は西海岸のカリフォルニア州、2度目は南部のルイジアナ州と異なりはするが、全国から教授陣や学生が集まっている大学や、全国に放映されるテレビで耳にすることばは、アメリカにおける全国平均的な言語使用を反映していると判断してよいだろう。

会話に用いられることばの中で、特に感情を込めて発せられ、聞く者の耳に残るのは、日本語であれば「すごい!」「いいねえ」といった表現に相当するような賞賛のことばだ。またアメリカでの会話では、相手をほめる場面がよく見られる。店のレジでも、レストランのトイレでも、キャンパスですれ違う時にも、見知らぬ者どうしても、相手のTシャツやバッグや靴をほめる。そこで発せられることばの多くが賞賛のことばとなる。

テレビコマーシャルにも賞賛のことばは多用される。コマーシャルは当然のことながら売り込む製品をほめるものなので、コマーシャルに登場する製品使用者は、賞賛のことばを感情込めて発する。

こうして感情を込めて何度も発せられる賞賛のことばは、私の2度の滞米中にも頻繁に耳にしたのだが、16年間という期間をおいて聞く表現はかなり異なるものとなっていた。私は浦島太郎のような、まさにタイムトラベルしたよう

な感覚に襲われた。

1994-5 年の滞米の際には、“cool”が町中でもテレビでも感情を込めて多用されていた。ところが、今回 2011-2 年の滞米中には、“awesome”が感情を込めて多用されていたのである。“cool”は今回も頻繁に耳にはしたが、その感情の込め方には 16 年前ほどの熱は感じられず、あっさりとしたものだった。

この 2 回の滞米中に私の感じた賞賛のことばの変化が、事実として報告できるものなのか、証明できる事実なのか、本稿では COCA という現代米語のコーパスと Urban Dictionary というオンライン辞書を利用して検証してみたい。COCA とは The Corpus of Contemporary American English の略である。Brigham Young 大学の Mark Davies により始められたコーパスで、1990 年から 2011 年までに渡り、口語も含めた様々なジャンルにおけるアメリカ英語のテキストを、各年 2,000 万語を目処に集め、総計約 4 億 2,500 万語に達している。Urban Dictionary とは Aaron Peckham が 1999 年より運営する参加型のオンライン辞書であり、スラングを中心とした語彙に対して 2012 年 3 月現在までに総計約 650 万の定義が寄せられている。それぞれ <http://corpus.byu.edu/coca/> および <http://www.urbandictionary.com/> のサイトで、誰でも無料で利用できるものとなっている。

本稿の第 1 章ではまず COCA コーパスを用いて、“cool”と“awesome”を中心とする賞賛のことばの使用頻度の変化を探る。ただしここで取り上げる賞賛のことばは、Urban Dictionary において利用者が“cool”や“awesome”の同義語として挙げた語彙の中から、限定的な意味を帯びる語彙は除き、また文法的に形容詞と認められる語彙に限る。次に第 2 章では Urban Dictionary を用いて、前章で取り上げた語彙が、実際の言語使用者によってどのような感覚をもって使われているのかを探る。言語表現の使用頻度と使用における感情の込め方の対応関係についても考察を加えることにする。

第 1 章

本章では COCA コーパスを利用して、“cool”や“awesome”とほぼ同義の形容詞の使用頻度の変化を調べる。調べる対象とする形容詞は、Urban Dictionary の利用者が“cool”や“awesome”の同義語として挙げる語彙から選ぶ。Urban Dictionary には“cool”や“awesome”の同義語が、以下のように記載されている。

(1) thesaurus for cool:

awesome sweet amazing hot sexy nice great funny rad sick tight fun good
awesome wicked smart chill crazy hip badass more...

(2) thesaurus for awesome:

cool amazing sweet great sexy hot rad sick funny fantastic nice good
fun crazy badass epic sex wicked beautiful tight more...

“cool”の項では“awesome”が、“awesome”の項では“cool”が、それぞれ第一に同義語として挙げられている。さらに“sweet” “amazing” “hot” “nice” “great” “good” “tight”も二つの項において共に同義語として含まれている。以上の語彙はどれも特に限定的な意味を持たずに、広範囲の対象に対して感嘆を伴う賞賛のことばとなる形容詞である。一方“hot” “sexy” “funny”などは性的な魅力を持つであるとか、笑いを引き起こすといった限定的な意味を帯びるので、ここでは検討の対象から外す。また“wicked”は副詞的に用いられることが多いので、これも今回の検討対象から外す。本稿では、広範囲に渡って用いることのできる賞賛のことばとして、以下9種の語彙を取り上げる。

(3) cool awesome sweet amazing nice great good sick tight

もともと COCA のデータに含まれるのは感嘆を伴う賞賛のことばとしての例だけに限らない。“cool”は「冷たい」「涼しい」という意味でも用いられるし、“sweet”は「甘い」、 “sick”は「気分が悪い」、 “tight”は「きつい、ピンと張った」という意味でも用いられる。賞賛のことばとして用いられる例だけを取り出すことが可能ならば、より正確な分析となっただろうが、残念ながら今回それはできなかった。ただ、こうした語彙が賞賛のことばとしての用法より以前から持っている用法は、既に長く定着しており、その使用頻度についても安定していると予想される。一方、まだ新しく定着しているとは言い切れない用法は、その使用頻度が変動していると考えられる。よって、COCA に現れる数字は、感嘆を伴う賞賛のことばとしての用法の使用頻度だけを含むものではないが、その数字の変化は、新しく生まれ、あるいは消えつつある、まだ定着していない賞賛のことばの使用頻度の変化によるものであり、賞賛のことばとしての用法のアメリカ英語への定着度を反映すると考えられる。

(3)に挙げた語彙の使用頻度の変化は COCA では次のようになっている。なお、COCA では 2010 年から 2011 年の数字も出されてはいるが、これより以前の期間の数字と比較することが難しいため、ここでは省略した。1990 年から 2009

年までの 20 年間での使用頻度の変化が明らかとなる。

COOL	1990-1994	1995-1999	2000-2004	2005-2009
	5617	7889	8385	9551

AWESOME	1990-1994	1995-1999	2000-2004	2005-2009
	630	752	834	1197

SWEET	1990-1994	1995-1999	2000-2004	2005-2009
	4790	5970	6200	7031

AMAZING	1990-1994	1995-1999	2000-2004	2005-2009
	2481	3826	4300	5284

NICE	1990-1994	1995-1999	2000-2004	2005-2009
	9688	12477	11163	12094

GREAT	1990-1994	1995-1999	2000-2004	2005-2009
	45310	48779	47974	48584

GOOD	1990-1994	1995-1999	2000-2004	2005-2009
	88800	95122	91688	94071

SICK	1990-1994	1995-1999	2000-2004	2005-2009
	5883	5583	5092	5120

TIGHT	1990-1994	1995-1999	2000-2004	2005-2009
	4271	4734	4859	4930

“good” “great” “nice”に関しては、使用頻度に大きな増減は見られない。また一貫した増加も減少も見られない。これらの語彙は賞賛のことばとして長く定着して用いられており、ここ最近数十年の間での目立った変化は見られないと判断される。

“good” “great” “nice”に比較すると、他の語彙、つまり “cool” “awesome” “sweet” “amazing” “sick” “tight”には、賞賛のことばとしての用法よりも古い別

の用法がある。これらの語彙にとって、よいことを伝える賞賛のことばとしての用法は、比較的新しいものである。

新しく賞賛のことばとしての用法が生まれた6種の語彙の使用頻度の変化を見ると、“sick”以外の5種の語彙については、全て増加傾向にある。使用頻度が高くなっている5種の語彙の使用頻度の高まりは、この5種の語彙の新しい賞賛のことばとしての使用が増えていることを示すと考えられる。

しかし“cool”も“awesome”も共に賞賛のことばとしての使用頻度が高まっているとは、どういうことだろうか。私がアメリカで受けた印象では、最大の賞賛のことばが“cool”から“awesome”に替わったように聞こえたのだが、それは勘違いだったのだろうか。次の第2章では、こうした語彙が実際の言語使用者によってどのような意味合いで、またどのような感覚をもって使われているのかを探っていく。

第2章

前章において使用頻度の変動が見られた賞賛のことばに対して、本章ではまず Urban Dictionary を用いて、その使用例や表現に対する使用者の感覚を探る。なお、Urban Dictionary は寄せられた記述に対して、他の利用者が賛同するかしないかという反応も数値で示される。賛同票が比較的多かった記述をここでは取り上げる。各引用の右上の数字が利用者の賛同・不賛同の票数を示す。また、各書き込みは原則的に、まず定義が示され、続いて例文が斜字体で示されている。なお、Urban Dictionary に寄せられた記述を本稿で取り上げるにあたっては、明らかなタイプミスなどについてのみ修正を加えた。

2-1 COOL

まずは“cool”について、Urban Dictionary に寄せられた定義と使用例を、いくつか次に挙げる。

2003年に書き込まれた下の(4)の内容に対しては、7,283 という多くの賛同票が集まっている。

- (4) 7283 up, 1304 down
The best way to say something is neat-o, awesome, or swell. The phrase "cool" is very relaxed, never goes out of style, and people will never laugh

at you for using it, very convenient for people like me who don't care about what's "in."

Homestar is cool.

The Red Sox are cool.

Twinkies are cool.

by Cool guy May 7, 2003

(4)で“cool”は“awesome”などの語彙とほぼ同義として説明されるが、“The phrase "cool" is very relaxed”や“don't care about what's "in"”という箇所が示すように、“cool”という表現に込められる感情はかなり冷めたものとなっている。次の2005年の書き込み(5)では、“cool”が表し得る意味を多く挙げている。

(5)

1552 up, 408 down

1. awesome
 2. popular; like in a social hierarchy
 3. used when a conversation goes silent
 4. nice
 5. wicked (new england style, NOT evil= wicked)
 6. good or great
 7. not warm, but not cold
 8. okay with each other, not mean to each other, but not necessarily nice, just not mean
1. *That new bike is cool.*
 2. *That kid Andrew is really cool.*
 3. *SILENCE.....That's cool.*
 4. *He gave me his lunch when i forgot mine; he's really cool.*
 5. *That's cool new.*
 6. a. *You were cool in Halo 2.*
 6. b. *That sandwich looks cool.*
 7. *My ice-cream is cool.*
 8. *After the argument, Bill asked Andrew, "We cool?", and Andrew replied, "Ya, we cool."*

by deerga_sid Jun 9, 2005

(5)では、7の“not warm, but not cold”という原義に加えて、1の“awesome”や4

の“nice”、6の“good or great”などの賞賛のことばと同じ意味も挙げられるが、3のように間を埋めるために発せられることばとしても、また更に8の“okay with each other, not mean to each other, but not necessarily nice, just not mean”のように悪くはない程度のよさを表す場合にも用いるとされている。

次の(6)も2,413という多くの賛同を得た書き込みだが、“cool”をあまり興味がない時でも知らない事に対してでも、とりあえず間を埋める相づちを打つために発する表現としている。

(6)

2413 up, 674 down

A word to use when you don't know what else to say, or when you are not that interested in the conversation. Sometimes, it can be used when you do not have any knowledge of the subject, yet you want to act as if you know-it-all.

Mary: "I saw a very cute kitten just now!"

Tom: "Cool."

by Caiyan Jan 30, 2005

“cool”は2000年代において、賞賛のことばとしては、あまり感情を込めることもなく用いる、無難な表現になっていると判断される。ただし、その使用は現代アメリカ英語において様々な場面で用いられるまでに定着してきており、そのために使用頻度はまだ増加傾向にあると考えられる。

2-2 AWESOME

“awesome”については、多くの賛同を得た書き込み2つが、同年2006年に書かれているが、その内容は大きく異なるものとなっている点が興味深い。

(7)では“awesome”が全く問題なく賞賛のことばとして説明されているが、これに対して(8)では、賞賛の意味には全く触れず、ただアメリカ人があらゆるものに対して用いることばと記述されている。(8)の書き込みは6,924という数多い賛同票を得ており、“awesome”がアメリカ中どんな人にもどんな場面でも用いられるようになっている状況を示している。

(7)

2479 up, 1597 down

formidable, amazing, heart-stirring, wonderful

Veronica Mars fans are awesome. They love the show so much they hired a plane to fly a message over Hollywood to show their support for renewal.

by amalia1 May 9, 2006

(8) 6924 up, 2064 down

Something Americans use to describe everything.

Oh wow it's just awesome

by Every Strangers Eyes Jun 20, 2006

2005年の書き込みである(9)は、賛同しない声も多いのだが、“awesome”が“cool”に取って代った表現である事を示している。

(9) 951 up, 952 down

Although it's now used as another word for cool, it literally means something that strucks awe. Something so amazing, one is in awe seeing it.

But like I said, nowadays it's used just like cool.

I was struck with awe when I witnessed men landing on the moon. It was awesome.

by David Akers Aug 15, 2005

下の定義(10)は、2011年に書き込まれたもので、より最近の言語状況を反映していると考えられる。ここで投稿者は、“awesome”があまりに頻繁に使用されており、この表現を用いる事がその使用者の知性や観察力の欠如を示すことになるまで言っている。

(10) 549 up, 147 down

An overused adjective intended to denote something as "cool" or "great" but instead winds up meaning "lame." This is actually a reflection of the lameness of a person using the word, the degree of which is directly proportionate to difference between the user's perspective of the so-called awesome object / person / situation and that of a reasonably sober, well-informed observer.

"Bono is awesome."

"This pizza is awesome" (when the pizza in question comes from a food court at the airport)

by ES Jones Jun 25, 2011

上の“awesome”に関する Urban Dictionary の記述とその変遷は、“awesome”が“cool”に取って代るように賞賛のことばとして頻繁に用いられるようになった変化と、その後あまりに頻繁に用いられる事によってその熱を失ってきている変化を表しているとは判断される。

2-3 SWEET

“sweet”については、女の子の素敵な様子を描写したり、話者に対して行われた他人の行為が親切であることを表したり、あるいはそうした親切な行為を行う人物の性質を表す用法が、以前から存在した。次の(11)の定義と例は、これに当てはまる。

(11)

691 up, 218 down

nice, pleasant, endearing, likable, non-threatening

They adore her because she is sweet.

by LINDAR May 27, 2006

だが、Urban Dictionary には、こうした「女の子」であるとか「話者のために行われた行為」であるといった限定的な要素がなくなっている定義や例も寄せられている。

(12)の例では、聴者 (“you”) の行為が、話者のために行われたものなのか、あるいは話者とは関係のない行為なのか、その状況が不明で、限定的な要素が感じられず、“sweet”の定義は広範囲に用いられる表現である“awesome”と同義とされている。

(12)

1880 up, 565 down

Something that is awesome

That was so sweet, what you just did.

by anonymous Dec 14, 2002

次の(13)では、“sweet”の定義は話者の感覚に焦点が集中している。その例でも、他人が話者に対して行った親切な行為の描写ではなく、何らかの行為を行う人物に対する描写でもなく、「100万ドルを勝ち取る」という話者自身だけが関わる出来事によって話者が感じる満足感と喜びそのものを、“sweet”が表している。そしてこの定義と例は 1,179 という多くの賛同票を得ている。

(13)

1179 up, 367 down

Adj.

An intensive used to express satisfaction, acceptance, pleasure, excellence, exaltation, approval, awe, or reverence. When used individually, the level of satisfaction expressed is most often directly proportionate to the duration of the vowel sound.

"Mashed potatoes for dinner. Sweet."

"I just won a million dollars? SWEEEEEEET!"

by tlc Nov 20, 2004

次の(14)に見られる定義と例でも、“sweet”は人物や行為を描写する形容詞とは認められない。1)のように「コンサートのチケットを手に入れる事」で引き起こされた話者の感情そのものを表したり、2)のように「コンサート」という、話者に満足感を与える出来事に対する形容となっている。

(14)

434 up, 261 down

1) Something good that happens

2) describing something cool

1) *Hey I just got the last tickets to the concert. Sweet!*

2) *Oh man that concert was so sweet!*

by Julianne Mar 5, 2004

“sweet”の用法について推察されるのは、その形容する対象が話者にとって外部に存在する人物から、話者が抱く内面的な感覚そのものへと変移してきている可能性があるということである。

2-4 AMAZING

“amazing”は、賞賛のことばとして、いまだ新鮮な力を持っていると考えられる。2004年から2009年の定義と例である次の(15)～(17)は、「心臓がどきどきする」や「言葉を失う」くらいの強い賞賛の気持ちを表していて、“amazing”という表現がこのような気持ちを表せるほどの力を持っている事を示している。

(15)

1552 up, 519 down

Something that is so wonderful, it is hard to find the words to match.
Something that makes your heart beat faster or your heart melt. Something
that tops everything else, and always crosses your mind.

Everything Alex is and does is amazing to me.

by Renee Sep 13, 2004

- (16) 424 up, 211 down
1. something that takes your breath away and leaves you speechless
 2. a word for someone that makes your heart melt like no body else ever will
jamie is amazing and i love her
whoa cool amazing jamie wow

by harry rothrock Nov 3, 2007

- (17) 194 up, 110 down
- Something that happens in the extraordinary.
He can do some amazing things.
impossible no way wow cool magic

by I K Mar 15, 2009

しかし、次の(18)に見られるように、やはり“amazing”の場合にも、他の賞賛のことばと同様に使用頻度が高くなりすぎて、賞賛の言葉としての力を失ってきていることが、2006年の段階で指摘されている。最高の賞賛のことばで友達をほめたいという10代の女の子たちの気持ちから、女の子たちの間で“amazing”が多用され、それゆえに“amazing”の賞賛のことばとしての力が失われ始めている様子が窺える。

- (18) 859 up, 509 down
- Over used word. Usually by teenage airhead girls. Amazing was once a word to describe something outstanding and wonderful. Now, teenage girls have overused the word. And have ruined it all.
- Girl 1- OMG *squeal* "That lime green skirt a AMAZING".*
Girl 2- OMG thanks, no YOU'RE AMAZING.
Girl 1- OMG WE'RE BOTH JUST SO AMAZING.

by Mildew Jun 28, 2006

“amazing”は賞賛のことばとして現在機能してはいるが、その賞賛の力は今後衰えて行くことも予想される。

2-5 TIGHT

“tight”の新しい賞賛のことばとしての用法は、ファッションについておしゃれであることを表すものが多く、限定的に使われる例が多く見られる。次の2003-4年に書き込まれた(19)の2と(20)に、その定義と例が見られるが、ここで“tight”は、靴や服について賞賛する表現となっている。

(19) 888 up, 429 down

1. very close friends.

2. cool, hip, fashionable.

I've been tight with Chris ever since highschool

Man those shoes are tight

by isla Aug 26, 2004

(20) 1360 up, 823 down

cool or hip

That outfit is tight!

by Ashley Green May 3, 2003

しかし (21)(22)の投稿者は、ファッション以外の領域にも“tight”を使用する定義と例を挙げている。

(21) 197 up, 155 down

adj. A person or a thing that looks good, acts cool, is cool or is stylish.

1. *The new Tupac CD is tight.*

2. *Look at Sue in her Jordache's. She looks tight.*

3. *Don't front Lorenzo, he tight.*

by thug4life Oct 3, 2002

(22) 388 up, 329 down

Original use: the mood or spirit between members of a music group who are having a particularly excellent performance.

Modern use: describes something particularly enjoyable or awesome.

*We rocked that place out, everything was funky and our band was tight,
man. We were all feelin' it.
That movie was tight. I loved it.*

by Albert Feb 15, 2004

(21)の2の例は前述の例と同様にファッションに関するものだが、“tight”という形容詞が、靴や服装そのものではなく、服を身につけた人物に対する描写になっている。3の例は、ファッションの要素がなくとも人物を描写する用法と判断される。更に1の例はCDという音楽作品に対しての形容であり、ここではファッションの要素も人物の要素もほとんど感じられない。(22)の2つの例は音楽と映画に対して用いられており、演奏や作品の出来映えを賞賛することばとなっている。

次の2010年に書き込まれた(23)は、“tight”について、機械や社会的仕組みがよくできていることを表す用法を示している。この記述は、(21)や(22)よりも更に明らかに、ファッションとは無関係な対象に対して“tight”が賞賛のことばとして用いられるようになってきている事を明らかにしている。

(23)

169 up, 122 down

A typical guys' expression to positively describe something that guys would like but that girls would not be interested in; usually a machine, contraption, or social situation. Frequently accompanied by a flick of the wrist.

"Bro, this Pizzazz Pizza Maker is TIGHT!"

by Dudn'em Jan 8, 2010

“tight”という形容詞は、賞賛のことばとしては、まずファッションなどに限定されたものとしての用法が生まれ、その後ファッションに限らず人物や多種の物に対して用いる用法へと使用範囲が広がっていると推測される。

2-6 SICK

最後に“sick”について考察する。この語彙は賞賛のことばとしての使用が認められるが、本稿で挙げた語彙の中では、その使用頻度が唯一減少傾向にある。

2004年に書き込まれた次の(24)は、“cool”に替わる最新の賞賛のことばとしての“sick”の用法を、旧来の用法と比較して示している。賛同票も1,322と多い。

(24)

1322 up, 927 down

OLD VERSION OF SICK

1. Not feeling good.

2 a (1) : affected with disease or ill health : AILING (2) : of, relating to, or intended for use in sickness <sick pay> <a sick ward>

NEW VERSION

Now used as the newest word to replace cool. Something that you've never seen before.

Old version:

Mary, "I feel sick to my stomach".

Jess, "Ask the teacher for a Nurses' Pass".

New Version

Keegan: This Calculator is sick!

Kass: That outfit is sick!

by Nathalie May 16, 2004

本来「気分が悪い」という悪い意味を持つ“sick”が、なぜ賞賛のことばとしての用法を持つことになったのか、という点については、河上 (, pp.215-6) の「偽悪型アイロニー (= praise-by-blame)」を用いて説明できる。何らかの悪い先行認識が存在する状況で良い現実認識が生まれた場合、話者は、悪い先行認識をことばにして発話することで、聴者に対して、話者自身の認識の変化を伝えることができる。以前には悪く思っていた事が、実際には素晴らしいということが分かったと伝え、最終的に得た良い印象を強く表現する事になるのである。

これまでに見た事もない物は、どんなに素晴らしいものでも最初は人の目に奇妙に見えるかもしれない。“sick”はその旧来の用法でこの「奇妙」という先行認識を表面的には表し、間接的に「素晴らしい」という現実認識を対比的に伝えることで、新しい賞賛の用法が生まれたと考えられる。

“sick”は、旧来の悪い意味での用法から、「偽悪型アイロニー」の仕組みによって、新しい、“cool”や“awesome”にほぼ同義の賞賛のことばとしての用法を持つことになった。しかし、(25)の定義と2つの例に見られるように、“sick”は賞賛の用法だけではなく、この表現が以前から持つ悪い状況を表す用法でも依然として使用されている。

(25)

610 up, 215 down

An adjective similar to cool referring to something that is either great or completely wrong.

1. *Your awesome new skateboard is sick!*
2. *What you said to her was just plain sick.*

by Pluta IceHaart Feb 18, 2005

(25)の1のように、文中で“awesome”が同時に用いられていれば、“sick”がここで悪い意味で用いられているわけではないということが明らかになるが、次の(26)のように、単純に人物に対する描写として用いられると誤解が生じる。

(26)

330 up, 206 down

something a lot of people are using to describe something in a positive manner.

person 1: OMG Jack is sick

Me: Why, what's wrong with him?

*person 1: *gives strange look**

by the_end_is_nigh (myspace) Aug 2, 2005

(26)の会話参加者“person 1”は、“OMG”(= Oh, my God!)と感嘆のことばを発するという賞賛のヒントを与えてはいるものの、明らかに賞賛しているという証拠を提供するには至っていない。“Jack is sick”という表現を聞いた私(Me)は、伝統的な意味で“sick”を理解し、一方、賞賛の用法として“sick”を用いた“person 1”は、誤解されたことにとまどうという展開になっている。

“sick”という語彙については、“cool”や“awesome”に替わる語彙としての用法が生まれたものの、これより以前から長く使用されてきた「病気である」とか「ひどく悪い」といった、ほぼ正反対の意味での用法が依然存在し続けているために、会話において誤解を生じやすいという難点がある。

また、この“sick”の賞賛することばとしての用法は、社会的階層と結びついたことによって敬遠されたとも推察される。2007年に書き込まれた(27)では、“sick”の賞賛の用法が、‘chavs’と呼ばれるアウトロー的な若者たちが使用することばとして定義されている。

(27)

25 up, 16 down

used by 'chavs' to state that somethings is good

Chav: Ooooo- dat new tune from Timbaland is sick man innit- brrrap!

Law-abiding citizen: Errr, yes.

by Alex_UK Dec 21, 2007

2009年の(28)では、“sick”の賞賛することばとしての用法が広く認められていることを指摘しながらも、「悪い」「ひどい」「嫌な気分させる」という伝統的な意味での用法の方が効果的に用いられると説明している。

(28)

20 up, 12 down

Contrary to the common definition of 'something extremely good' celebrated chavs/hoodies, sick is better and more effectively used in its traditional meaning, ie something bad/low. Also said 'that sickens me' or 'thats sickening'.

'I have soo much work to do today it's sick'

'I haven't seen Royston in so long it sickens me'

'Fred is grotesque the way he walks is sickening'

by GoldenBarrel Nov 22, 2009

“sick”の賞賛の用法は、伝統的な用法に対してほぼ正反対の意味を表すために、会話において誤解を生じやすく、また多くの人々が反感を持つ社会階層のことばとしての意味合いも帯びた。このために、“sick”の“cool”や“awesome”に替わる賞賛のことばとしての新しい用法は、その使用頻度が伸びず、現在では減少傾向にあるものと推測される。

結語

以上、現代のアメリカ英語において変化しつつある賞賛のことばについて、COCA コーパスと Urban Dictionary という電子媒体を用いて、その使用頻度の変化と、用法の変遷を探った。

COCA コーパスのデータを調べた結果、本稿で取りあげた9種の賞賛のことばの中では、“good” “great” “nice”といった古くからほめことばとして機能してきた3種の表現はその使用頻度に大きな変化は見られなかった。これに対して新しく賞賛のことばとして機能するようになった6種の表現は、“sick”のみが

現在減少傾向にあり、他の5種“cool” “awesome” “sweet” “amazing” “tight”はすべて増加傾向にあることが判明した。

ただし、使用頻度は、それぞれの賞賛のことばが持つ賞賛を表す力を、そのまま反映したものとは言えないことも、Urban Dictionary に寄せられたアメリカ英語使用者による記述で明らかになった。

賞賛のことばは、使用領域が様々に拡大することによって、その使用頻度が高まっている。“tight”は、はじめはファッションについてのみ用いられていたのに、やがてそうしたファッションを身につけた人物を形容し、またファッションに関係なく人物を、更には人物以外の事物まで形容するように変化したと思われる。はじめは限定された種類の対象についてのみ用いられていた表現が、より一般的な様々な種類の対象についても用いられるようになれば、その使用頻度も高まることになる。

また賞賛のことばを用いる際に話者が抱く賞賛する気持ちも、その幅が広がる傾向が見られる。はじめは啞然としたり、心臓がドキドキするほどの強い賞賛の気持ちを表していたものが、それほどの気持ちを抱いていない対象に対しても、「何にでも」用いられるようになる。

ことばの使用者の層の変化もことばの使用頻度の変化に反映すると考えられる。Urban Dictionary では、“amazing”が特に10代の女の子たちに多用されていることが指摘されており、“tight”は男性層と結びつく指摘も見られた。また“sick”は、‘chavs’と呼ばれるアウトロー的な若者たちと結びつけられていた。こうしたことばの使用者層が拡大すれば、ことばの全体的な使用頻度も高まることになる。

形容する対象範囲の拡大、賞賛の程度の緩和、使用者の層の拡大はことばの使用頻度の増加につながるのだが、使用頻度の増加はしばしばことばの表現力を弱めることになる。“cool” “awesome” “amazing”の3種の表現についてのUrban Dictionary での記述には、どれも多用される事による表現力の低下を示す意見が寄せられている。

ただし賞賛のことばとしての表現力の低下は、すぐさまその表現の使用を抑える事につながるわけではない。表現力は落ちても、何にでも気軽に使える便利なことばとして使われ続けている。“cool”は賞賛を表す力を持つ表現としては、“awesome”などにその地位を譲ったが、会話の相手にどのように返答したらよいか分からない時に使える、とりあえず同意や賛同など相手への好意を示すことのできる表現として、多くの場面で数多く使用されるようになっている。“cool”に取って代ったはずの“awesome”も、“cool”と同様の道をたどっているように見える。

賞賛のことばは、話者の新鮮な感動とも言える感情を伝えるために、より新鮮な表現が求められる。そのために新しい賞賛のことばが生まれることになる。しかし、多くの人に数多く使われれば、ことばの新鮮さは消えていき、話者の新鮮な感動を伝える事も困難になっていく。そしてまた新たな賞賛のことばが生まれる。こうして現代アメリカの英語にも次々に新たな賞賛のことばが生まれ、言語は変化しているのである。

参考文献

河上 誓作 (1984) 「文の意味に関する基礎的研究: 認識と表現の関連性をめぐって」『大阪大学文学部紀要 24』 i-286 頁

コーパス

The Corpus of Contemporary American English (=COCA)
<http://corpus.byu.edu/coca/>

辞書

Urban Dictionary
<http://www.urbandictionary.com/>